

### 3 その他の情報

## Q1 WISC - 個別式知能検査とはどのような検査ですか

言語性検査と動作性検査からなり、三つのIQ、四つの群指数、下位検査のバランスなどから個人内のさまざまな力が測定される。一人一人の「得意な部分」と「不得意な部分」から認知（情報）処理過程の特徴を明らかにし、指導に生かすことができる。

七つの動作性検査、六つの言語性検査からなる13の下位検査を実施し、粗点を評価点に換算する。

全検査IQから全般的な知的発達をみることが出来る。一般的に70以上あれば遅れはないといえる。言語性IQと動作性IQの差をディスレパンシーといい、年齢により異なるが、おおそ13以上で有意差があるといえる。群指数は下位検査を組み合わせる能力で、IQと同じく平均は100になり認知特性やバランスをみることが出来る。

各下位検査の評価点が平均より3点以上差がある場合、有意差があるといえ、それぞれ「得意な部分」、「不得意な部分」を表している。この事例では、言語性下位検査の評価点平均は9点であり、類似は不得意、数唱は得意であることが分かる。言語性検査に比べて動作性検査の下位検査間に有意差はみられない。

氏名： ○○○○ (男) 利き手： 右  
 学校名： △△小学校 学年： 小1  
 検査理由： 実態把握のため

検査者： ○○  
 検査日： 14年 8月 25日  
 生年月日： 7年 11月 17日  
 年齢： 6年 9月 8日

下位検査	粗点	評価点(SS)
1 絵画完成	8	7
2 知識	5	8
3 符号	15	5
4 類似	2	5
5 絵画配列	6	5
6 算数	10	10
7 積木模様	10	5
8 単語	13	11
9 組合せ	14	9
10 理解	7	8
11 (記号探し)	14	8
12 (数唱)	11	12
13 (迷路)	6	7
評価点合計	42	37

評価点合計	IQ/群指数	パーセンタイル	90%信頼区間	
言語性	42	90	25	85-97
動作性	37	73	4	69-83
全検査	73	80	9	76-87
言語理解	32	88	21	82-98
知覚統合	26	77	6	72-87
注意記憶	22	106	66	98-113
処理速度	13	80	9	74-93

下位検査評価点

言語性検査						動作性検査						
知識	類似	算数	単語	理解	数唱	絵画	符号	配列	積木	組合	記号	迷路
8	5	10	11	8	12	7	5	5	5	9	8	7

IQ

言語性	動作性	全検査	言語理解	知覚統合	注意記憶	処理速度
90	73	80	88	77	106	80

WISC - の対象年齢は5歳0か月～16歳11か月の子どもたちである。

評価点の合計から三つのIQ、四つの群指数に換算する。パーセンタイルは100人中の順位に換算する方法で例えば25パーセンタイルとは、下位から数えて25番目に当たり、その得点以下のものが25人いることを示す。90%信頼区間とは、例えば100回中90回は85～97の間の値が出ることを表している。

この事例では、全般的な遅れはないが、動作性IQに比べ言語性IQが有意に高い。視覚的情報処理より聴覚的情報処理が得意であることが推測される。群指数では、注意記憶が高く、言語理解、知覚統合、処理速度が低い。数を扱う能力や注意集中、短期記憶の能力が高いことが推測される。

#### 実施に当たっての配慮事項

- 保護者の了解を得ること  
(IQによる判定ではなく指導に生かすことを説明する。)
- 検査に習熟し、準備を十分すること
- 個人情報管理に注意すること

#### 検査用具について

- 当教育センター、各市町村教育委員会、養護学校等で貸し出している。

#### 実技研修について

- 夏季を中心に各地で開催されているほか、当教育センターでの来所研修が利用できる。

Q 2 認知処理様式の特徴を活用するにはどうしたらよいでしょうか

認知処理様式とは

認知処理様式とは、課題を解決するために、外界からの情報を取捨選択して取り入れ、分類・変換・記憶・判断等する過程のことで、継次処理型と同時処理型の二つに大別される。

K - A B C 検査の認知処理過程尺度は、継次処理尺度と同時処理尺度を測る下位検査から成り、子どもの得意な認知処理様式を把握できる。W I S C - 検査では、言語性 I Q と動作性 I Q の差が大きい場合、認知処理のアンバランスが予想される。例えば言語性 I Q が高い子どもは、聴覚優位・継次処理型であると考えられ、教師が子どもの認知処理様式に合わせた指導方略で授業を行うことで学習成果の向上が期待できる。

K - A B C... K - A B C 心理・教育アセスメントバッテリー  
指導方略...具体的な学習指導の手続きや手掛かり

継次処理の優位な子ども

課題を部分的に把握し順番に解決する。  
耳からの情報を受け取りやすい。  
言葉による説明が理解を助ける。

同時処理の優位な子ども

課題を全体的に把握し解決する。  
目からの情報を受け取りやすい。  
絵や図などを利用した説明が理解を助ける。

継次処理型指導方略とは

段階的な教え方  
部分から全体への方向性を踏まえた  
教え方  
順序性を踏まえた教え方  
聴覚的・言語的手掛かりの重視  
時間的・分析的要因の重視

同時処理型指導方略とは

全体を踏まえた教え方  
全体から部分への方向性を踏まえた  
教え方  
関連性を踏まえた教え方  
視覚的・運動的手掛かりの重視  
空間的・統合的要因の重視



### Q3 研修に活用できる図書やビデオがありますか

学習障害，注意欠陥／多動性障害，高機能自閉症に関する図書は，現在数多く市販されており，当教育センターにも巻末の参考文献等が整備され，貸し出しに応じている。以下のビデオも校内研修等に貸し出している。

- ・ 「落ち着きのない子どもたち」第1巻理論編
- ・ 「落ち着きのない子どもたち」第2巻指導編
- ・ 「ADHD注意欠陥・多動性障害 その基礎知識と対応法」
- ・ 「LDのためのソーシャルスキル・トレーニング」
- ・ 「LDとその周辺の子どもの理解と進路をめぐって」
- ・ 「LDとその周辺の学習困難な子どもの教育」幼児期から青年期まで
- ・ 「LDとその周辺の学習困難な子どもの教育」幼児期から青年期まで
- ・ 「教師のためのTEACCHプログラム」～ノースカロライナ州にみる自閉症治療教育～



Q4 特別な教育的支援の必要な子どもの理解，支援の在り方，研修の進め方などについてどこに相談すればよいでしょうか

鹿児島県内の主な相談機関

当教育センターだけではなく大学等各機関で特別な教育的支援が必要な子どもに関する相談に応じている。盲・聾・養護学校では，地域の特殊教育に関する相談のセンターとしての役割を果たすため，施設や人材の活用を進めている。各教育事務所（局）では相談員が対応し，各市町村教育委員会でも相談員が対応できる場合もある。

機 関 名	住 所	電 話
鹿児島県児童総合相談センター	鹿児島市桜ヶ丘 6 - 12	099-264-3003
鹿児島県精神保健福祉センター	鹿児島市郡元 3 - 3 - 5	099-255-0617
鹿児島市教育委員会青少年課	鹿児島市山下町 6 - 1	099-227-1971
鹿児島大学教育学部	鹿児島市郡元 1 - 20 - 6	099-285-7111
鹿児島大学医学部附属病院	鹿児島市桜ヶ丘 8 - 35 - 1	099-275-5111
鹿児島市立病院	鹿児島市加治屋町 20 - 17	099-224-2101
鹿児島県立鹿児島盲学校	鹿児島市下伊敷 1 - 52 - 27	099-220-0441
鹿児島県立鹿児島聾学校	鹿児島市草牟田 2 - 53 - 54	099-226-1815
鹿児島県立武岡台養護学校	鹿児島市小野町 2760	099-282-0440
鹿児島県立鹿児島養護学校	鹿児島市吉野町 2300	099-243-0114
鹿児島県立桜丘養護学校	鹿児島市桜ヶ丘 6 - 12	099-265-6642
鹿児島県立皆与志養護学校	鹿児島市皆与志町 1782 - 1	099-238-5078
鹿児島県立指宿養護学校	指宿市十二町 4193 - 2	0993-23-3211
鹿児島県立南薩養護学校	日置郡金峰町尾下 326	0993-77-0100
鹿児島県立串木野養護学校	串木野市下名 1041	0996-32-4105
鹿児島県立出水養護学校	出水市文化町 966	0996-63-3400
鹿児島県立加治木養護学校	姶良郡加治木町木田 1784	0995-63-5729
鹿児島県立牧之原養護学校	姶良郡福山町福山 6140 - 1	0995-56-2665
鹿児島県立鹿屋養護学校	鹿屋市大浦町 14000	0994-44-5109
鹿児島県立中種子養護学校	熊本郡中種子町野間 6584 - 4	09972-7-2818
鹿児島県立大島養護学校	大島郡龍郷町芦徳 1912 - 1	0997-62-3050
鹿児島大学教育学部附属養護学校	鹿児島市下伊敷 1 - 10 - 1	099-224-6257
鹿児島県総合教育センター 特殊教育研修室	鹿児島郡吉田町宮之浦 862	099-294-2311